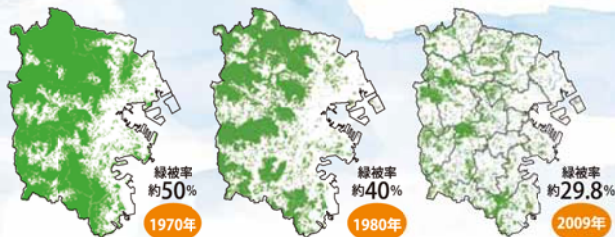


横浜 みどりアップ 計画とは？

緑は一度失われると回復が困難ですが、急激な都市化の進展により大きく失われてきました。平成20年度に実施した「横浜の緑に関する市民意識調査」では、緑の増加や維持を求める声が約98%ときわめて多くなっており、緑の保全は緊急に取り組まなければならない課題です。

そこで、横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するために、従来進めている横浜みどりアップ計画の施策に加え、新規・拡充施策を策定し、平成21年度から事業や取組を進めています。

横浜市では緑が急激に減少してきました。
※調査年度によって手法や精度が異なるため、概ねの傾向を示したものです。



一人ひとりの取組を大きなみどりアップにつなげるため、「みどりアップ」をしています！宣言に登録しませんか？

樹林地を守るために…

森づくりの活動やイベントへの参加などによって、横浜の森や緑を守ることにつながります。

農地を守るために…

横浜産の農産物の購入や農体験などによって、横浜の農業と農地を守ることにつながります。

緑をつくるために…

緑を育て楽しむ活動などによって、横浜の緑を増やすことにつながります。

「自然に触れるイベントに参加」「横浜産農産物を積極的に購入」「身近な所で緑や花を育てる」など一人ひとりの取組をメッセージや写真とともに登録してください。

◆ご登録いただく◆

代表的なメッセージ・イニシャルなどをホームページで紹介、メールマガジンの受信や抽選でプレゼントがあたるなど特典があります。

◆登録期間◆

平成22年10月から平成26年3月末まで

★携帯電話から登録の方



★パソコンから登録の方

みどりアップ宣言登録 検索
URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyoe/c/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/sengen/>

横浜みどり税

樹林地や農地の多くが民有地であることから、所有者による緑地の保有を支援し、不測の事態による買取りの希望などに対応するとともに、市街地の緑化等を進めます。これらの施策を継続して実施していくためには、多くの費用が必要であり、安定的な財源を確保するために、平成21年度から「横浜みどり税」を実施しています。

課税方式

個人…市民税の均等割に年間900円を上乗せ^{※1}

法人…市民税の年間均等割の9%相当額を上乗せ^{※2}

※1 所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない人等を除く。
※2 平成24年度までの4年度間は法人税割が課税されない法人を除く。

実施期間

個人…平成21年度分から25年度分まで

法人…平成21年4月1日から26年3月31日の間に開始する事業年度分

基金への積立て

税収相当額を「横浜市みどり基金」へ積み立て、他の財源から分けることで使途を明確にします。

横浜みどり税を活用した

横浜みどりアップ計画

平成21年度から始まった「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」は、市域の緑の減少に歯止めをかけ、緑豊かなまち横浜を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源として活用しながら推進しています。

新規・拡充施策



健康の森事業 (港北区)

平成21～23年度の成果の概要をご報告

みどりアップ計画は3本の柱で進めています

樹林地を守る

積極的な働きかけにより、毎年平均で100haを超える樹林地の保全が新たに進み、樹林地の特性に応じた保全管理計画の策定や維持管理に対する助成が進みました。

さまざまな団体や施設と連携した森に関する講座を通じ、多くの参加者に樹林地の魅力などをPRしてきました。

- 樹林地の指定: 309.9ha (104.6ha) (特別緑地保全地区、市民の森、緑地保存地区など)
309.9haは、横浜公園約50個分の面積になります。
- 樹林地維持管理助成: 176件 (83件)
- 保全管理計画を策定した市民の森等: 9か所 (3か所)
- 森への関心を高める講座: 149回実施
約1万人 (83回実施・6,528人)

農地を守る

水田の保全をさらに進め、良好な景観や都市環境の保全が進みました。

農地の貸借が進み、遊休農地の耕作による営農環境の向上と新たな担い手への貸付が進みました。

収穫体験農園の整備に支援を行い、市民の皆さまが果物のもぎとりや野菜のつま取りができる場を増やしてきました。

- 水田の保全: 109.7ha (10.0ha)
- 長期貸付を開始した農地: 32.7ha (18.8ha)
- 収穫体験農園整備に対する助成: 10.4ha・63か所 (7.1ha・32か所)

緑をつくる

地域の皆さまと策定を進めてきた地域緑化計画がまとまり、緑化の実施に着手するなど地域での緑のまちづくりが新たな段階に入りました。

保育園や小中学校など、身近な施設での緑化が進みました。

屋上や壁面などの民用地緑化では、より一層助成制度を活用していただけるよう取り組んでいます。

- 地域で緑のまちづくりに取り組んでいる地区: 12地区 (2地区)
- 園庭・校庭の芝生化: 延べ98か所 (27か所)
- 屋上・壁面緑化への助成: 40件 (9件)

問合せ 横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)について
環境創造局みどりアップ推進課
TEL: 045 (671) 2712 FAX: 045 (224) 6627

横浜みどり税について
各区役所税務課又は財政局税務課
財政局税務課 TEL: 045 (671) 2253 FAX: 045 (641) 2775

① 人生記念樹等配布事業

人生の節目の記念日等に希望された市民に苗木を無料で配布
区役所で苗木配布(神奈川区)

② 保育園・幼稚園芝生化助成事業

民間の保育園・幼稚園の園庭芝生化に助成
はら保育園(瀬谷区)

③ 地域緑のまちづくり事業

地域の方々が主体となり、地域にふさわしい緑化を計画し実施
平楽地区(南区)



平成23年度の成果の一部をご紹介します

④ 名木古木保存事業

樹齢が概ね100年を超える樹木や故事・来歴等のある樹木を指定
指定されたタブノキ(中区)

⑤ 屋上緑化助成事業

市街化区域の建築物の屋上又は壁面の緑化に助成
民間ビルの屋上緑化(西区)

⑥ 生垣設置事業

ブロック塀の撤去に伴う生垣の設置に助成
新たに設置された生垣(戸塚区)

⑦ 森づくりリーダー等育成事業

森づくりボランティア養成講座を実施
新市市民の森(緑区)

⑧ 間伐材活用クラフト作成事業

間伐材を活用したクラフト作成ワークショップ等を開催
横浜市児童遊園地(保土ケ谷区)

⑨ 特別緑地保全地区指定等拡充事業

特別緑地保全地区に指定し、樹林地の保全を推進
今宿町特別緑地保全地区(旭区)

⑩ 森の中のプレイパーク事業

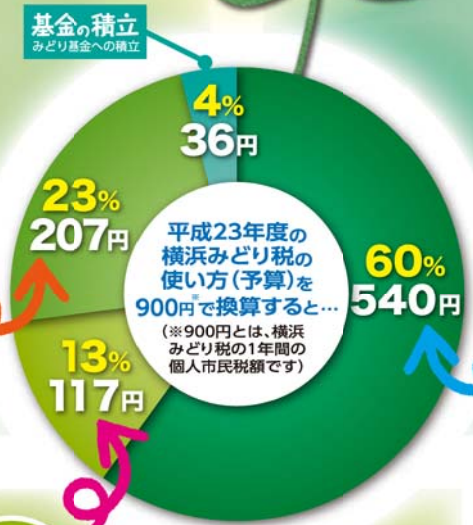
子供たちが木とふれあい、遊びを通して森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを実施
港南区図書館(港南区)

⑪ 森の恵み塾事業

樹林地の特性をいかした体験メニューによる森林教室「森の恵み塾」を開催
環境科学研究所(磯子区)

⑫ 健康の森事業

樹林地保全への関心と理解を深めながら、健康増進を図る健康ツアーなどを各種団体等と連携し実施
東寺尾ふれあいの樹林(鶴見区)



- 地域ぐるみでの緑化や保育園・幼稚園の園庭の芝生化
- 屋上や壁面の緑化助成 など

緑をつくる

樹林地を守る

- 樹林地を保全するための地区指定や買取
- 保全した樹林地の利活用 など

- 水田の保全
- 地産地消の推進 など

農地を守る

⑬ 水田保全契約奨励事業

貯水機能や景観形成など多面的な機能のある水田を保全
夏の水田(栄区)

⑭ 集団的農地の維持管理奨励事業

農地等の管理、景観植物の植栽・管理を行い、市民に農的景観を提供する団体に対し支援
水路清掃の様子(金沢区)

⑮ 共同直売所の設置支援事業

市民が身近で地場農産物を購入できるよう、共同直売所の整備に対し支援
都筑中川農産物直売所(都筑区)

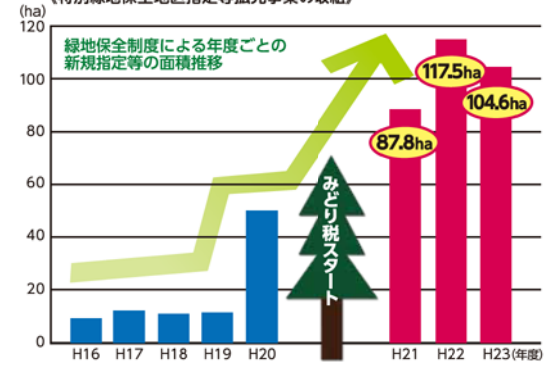
⑯ 不法投棄対策事業

恒常的に不法投棄の多い農地周辺で、音声等で警告する警報装置を設置
警報装置設置例(青葉区)

⑰ 収穫体験農園の開設支援事業

果樹のもぎ取りや野菜の収穫等、市民が地産地消を体験できる収穫体験農園の整備に対し支援
整備支援された農園(泉区)

樹林地の保全が進んでいます



約5倍のスピード

みどりアップ計画後
指定量 約100ha/年
3年間の平均(H21~23年度)

みどりアップ計画前
指定量 約20ha/年
5年間の平均(H16~20年度)